

加茂市



議会だより

—令和2年11月臨時会・12月定例会—

第212号

令和3年1月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

http://www.city.kamo.niigata.jp

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



市議会ホームページ

加茂市議会



まずはボーゲンから

次は クリスチャニア、ウェーデルン

ホリデースキー教室 (1月9日 冬鳥越スキーガーデン)

〈主な内容〉

- 加茂美人の湯の指定管理者を可決……(2)
- 委員会の審査から……(3)
- 10人が一般質問に登壇……(4)
- 令和2年の議会……(9)
- 議案審議結果、議員賛否の状況……(10)

市民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症予防のため、日常生活が大きく変わり苦慮されている方も多いのではないのでしょうか。

私たち市議会は市民の代表として一体となり、この難局を乗り切るべく必要な政策について提起提案していく所存です。

なお課題は山積しておりますが、皆様とともに考え、ともに行動することで市民生活に安心感ある地域の実現を目指して参りますので、市議会に対し一層のご支援とご協力を何卒よろしくお願いいたします。



加茂市議会議長
滝沢 茂秋

年頭にあたって

本誌の2次元コードをスマートフォンなどで読み取るにより、一般質問の録画映像をご覧いただけます。12月定例会は、機器の不調により静止画像と音声になります。

加茂美人の湯の指定管理者を 賛成多数で可決

十二月定例会は、十日から二十一日まで会期十二日間で開かれました。

この定例会では、各会計補正予算、条例制定・改正・廃止など市長提出議案十三件を慎重に審議の結果、全て原案可決、同意しました。
また、議員提出の規則の一部改正一件及び意見書二件を原案可決し、意見書は関係機関へ提出しました。

議員提出の規則改正

定例会最終日の本会議で、市議会会議規則の一部を改正する規則が議員提出され、全会一致で可決しました。

これは、近年の働き方改革が社会に浸透している中、市議会としても議員が働きやすい議会となるよう環境整備を図るものです。
現在、欠席する場合の理由は、

12月 10日	本会議
11日	本会議
14日	本会議・連合審査会 全員協議会
15日	産業建設常任委員会
16日	社会厚生常任委員会
17日	総務文教常任委員会
21日	本会議

定例会日程

12月定例会

事故のためと出産のためが規定

されているが、欠席事由を疾病、看護、介護、出産、立会い、育児、忌引、災害その他やむを得ない理由と明確化するものです。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。審議結果及び賛否の状況は最終ページに掲載しています。

条例制定

120号議案 公の施設の指定管理者

公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例は、加茂市の公の施設の設置の目的を効果的に達成するため、加茂市が指定する法人その他の団体に、当該公の施設の管理を行わせるための事項を定めるものです。

併せて、本条例の制定により、市民福祉交流センター（加茂美人の湯）及び加茂土産物センター

・インフォメーションセンターについて、指定管理者に管理委託を行えるよう各施設条例を改正するものです。

また、すでに指定管理条項を規定している産業センター条例についても、手続きの一本化のため、所要の改正を行うものです。

121号議案

国民保護協議会条例

国民保護協議会条例は、加茂市国民保護計画の策定及び修正等を行うにあたり設置が必要となる加茂市国民保護協議会について、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものです。

また、協議会設置に伴い、協議会委員の報酬及び費用弁償について定めるため、非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するものです。

条例改正

122号議案 国民健康保険税条例

国民健康保険税条例は、地方税法施行令の一部を改正す

る政令の施行に伴い、国民健康保険税の減額に係る所得の基準について、所要の規定の整備を行うものです。

123号議案

中小企業特別小口

資金融資条例は、令和三年一月一日より(株)第四銀行と(株)北越銀行が合併し、(株)第四北越銀行と名称が変更となるため、条例の一部を改正するものです。

条例廃止

124号議案 加茂市

市で実施しているデイサービス事業を令和三年度から社会福祉法人加茂福祉会への事業移管に伴い、デイサービスセンター設置条例を廃止するものです。

補正予算

116号議案

一般会計(第十三号)は、総額一億二千七百七十一万七千円の増額で、ふるさと加茂応援寄附金推進事業費四千八百五十八万四千円などを増額するものです。財源は、寄附金一億円などを増額して措置するものです。

128号議案

一般会計(第十四号)

は、総額八百十萬円の増額で、コミュニティ推進費二百三十万円、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費五百八十万円を増額するものです。財源は、諸収入二百三十万円、国庫

支出金五百八十万円を増額して措置するものです。

この結果、予算の総額は百五十四億五千四百二十二万一千円となりました。

117号議案

国民健康保険特別

会計(第五号)は、総務費七十七万円の増額で、財源は、繰入金百三十一万六千円を増額し、県支出金五十四万六千円を減額して措置するものです。

この結果、予算の総額は二十



125号議案 指定管理者の指定は起立採決

七億四千三百七十八万八千円となりました。

118号議案 後期高齢者医療特別会計(第四号)は、総務費五十五万円など総額九十六万五千円の増額で、財源は、繰入金八十五万五千円などを増額して措置するものです。

この結果、予算の総額は三億三千六百五十六万一千円となりました。

119号議案 介護保険特別会計(第五号)は、総務費百三十二万円の増額で、財源は、国庫支出金六十六万円などを増額して措置するものです。

この結果、予算の総額は三十二億一千四百六十七万八千円となりました。

指定管理者の指定

125・126号議案 市民福祉交流センターの指定管理者を株式会社加茂人に、加茂土産物センター・インフォメーションセンターの指定管理者を株式会社G・P・G・S.に指定するため、地方自治法の規定により議決するものです。

人事

127号議案 定例会最終日の本会議で、欠員が生じた固定資産評価審査委員会委員に、吉崎重廣氏(仲町69歳)の選任について同意しました。

新型コロナウイルス緊急経済対策

11月臨時会

十一月二十四日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案十四件を承認、原案可決しました。

102号議案 物品の購入の専決処分は、加茂市GIGAスクール情報機器の購入の仮契約で、市内の小・中学校に電子黒板及び電子黒板設置台百五十五台を五千三百七十六万六千五百五十円を整備するものです。

103号議案 一般会計補正予算(第十号)の専決処分は、市庁舎冷温水発生機石綿含有材除去作業委託料二百四十八万六千円の増額で、財源は、繰越金を同額増額して措置するものです。



11月臨時会全員協議会で補足説明を聞く

104号議案 水道事業会計補正予算(第三号)の専決処分は、資本的収支について、支出で建設改良費一千八十九万円の増額で、財源は、企業債一千八十万円を増額して措置するものです。

105・106号議案 特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正及び職員の給与に関する条例の一部改正は、人事院勧告に伴い、期末手当を〇・〇五月分引き下げるものです。

107号議案 一般会計補正予算(第十一号)は、給与等改定所要額四百一十二万円、給与改定に伴う特別会計への繰入金三十八万九千円を減額し、財政調整基金積立金四百四十万一千円を増額するものです。

108・113号議案 各特別会計及び水道事業会計補正予算は、いずれも給与改定所要額を減額するものです。

114号議案 一般会計補正予算(第十二号)は、総額百八十万四千円の増額で、都市再生整備計画事業費三百五十二万円、新型コロナウイルス緊急経済対策事業の新しい規事業で在宅介護サービス事業特別会計繰入金など五千五百三十五万四千円を増額し、不用額が見込まれる事業費等五千七百七万円を減額するものです。財源は、県支出金百七十六万円などを増額して措置するものです。

115号議案 在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第四号)は、新型コロナウイルス緊急経済対策事業として繰入金四千五百万円を増額し、同額サービス収入を減額するものです。

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案は、12月15日から17日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、全て原案可決すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

十二月十五日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全て全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進を求める意見書の提出の議決要請は、担当課長の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で意見書を提出すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

十二月十六日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案七件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全て全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

十二月十七日に委員会を開催し、一般会計予算など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の制定については、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、一般会計予算のうち所管の部分及び国民保護協議会条例の制定の二件については、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、いずれも原案可決すべきものと決定しました。

また、国会等への拉致事件の解決に関する意見書の提出の議決要請は、委員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で意見書を提出すべきものと決定しました。



40年稼働し老朽化が進んで、いつごみの焼却ができなくなってもおかしくない状況のごみ焼却施設、加茂市・田上町清掃センターについて緊急に問う れいわの風 橋本昌美 議員



問

平成三十一年にごみ焼却施設がダイオキシン類の排出基準を上回り稼働停止。部品等の交換で稼働中だが昭和五十五年の稼働開始から四十年以上が経過。見附市は三十三年間稼働したごみ焼却施設を老朽化のため令和元年に新設。また、市民のごみに関する質問等はごみ回収に対する有料化や祝日等のごみ収集が休みになることへの不満等、日常の利便性の追求を訴えるものが多い。これらは正常にごみ処理が行われていることが前提であり、ごみ焼却施設の現状を考えると不安ではない。(1)ごみ処理方法の検討の進捗状況はいかがか。焼却施設の今後に対する思いはいかがか。(2)新規施設稼働までの八年程度の間は大丈夫なのか。前市長は「新しい部品に取り替えれば新品同様と

なる」と答弁され、藤田市長は以前「施設は老朽化、いつごみの焼却ができなくなってもおかしくない」と答弁された。前市長の言っていることは間違いなのか。(3)市民に周辺市の施設と併せ、ごみ処理施設を見学してもらってはどうか。加茂市と近隣の施設を見比べることで市民に加茂市の現状を提示し未来を一緒に考えていきたい。

答

(1)これから将来構想の検討段階に入り、施設延命化、燃やす施設新設、燃やさず処理する施設新設、広域処理を比較検討し、決定していく。田上町、加茂市・田上町消防衛生保育組合と慎重な議論を重ね進めたい。組合議会のごみ処理施設建設特別委員会にごみ処理施設整備基本構想と一般廃棄物処理基本計画の進捗状況を報告する。(2)炉を停止する必要が生じた際、これまで同様、近隣自治体に協力いただくことになる。新しい部品に取り替える方法は費用対効果の問題がある。今後の方向を検討するため、基本構想と基本計画策定に至った。(3)市民の見学の受入れは可能。周辺自治体の清掃センターの見学は調整が必要になるが、検討したい。

12月定例会 一般質問 演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧になれます(今回は静止画像と音声です)

人口減少対策について

れいわの風 大橋 一久 議員



問

①独身理由の半数は相手に巡り合わないから。(1)婚姻促進の取組を。(2)県のハートマッチにいがたの登録料助成を。(3)県の結婚・子育てサイトに市の取組を掲載しアピールを。(4)市に結婚相談窓口が必要。縁結びコンシェルジュの名称はいかがか。(5)フィルムコミッションの検討状況はどうか。

答

①独身理由の半数は相手に巡り合わないから。(1)婚姻促進の取組を。(2)県のハートマッチにいがたの登録料助成を。(3)県の結婚・子育てサイトに市の取組を掲載しアピールを。(4)市に結婚相談窓口が必要。縁結びコンシェルジュの名称はいかがか。(5)フィルムコミッションの検討状況はどうか。(1)電気柵の来年度の補助導入は。(2)里山緩衝帯作りの展開を尋ねる。(3)加茂福祉会へ出資しているか。(2)加茂市介護・看護支援センターが第二平成園内にあることで民間参入が進まないのでは。(3)市は地域包括支援センターに注力し介護申請されない方などに支援を。(4)市の土地の無償貸出で民間参入を。(1)他市と比べ既婚率が低い。婚姻促進に取り組みたい。(2)助成を検討したい。(3)早急に掲載しアピールしたい。(4)役割をやりたいという方がおり、検討したい。(5)来年度、県と燕三条の各フィル

ムコミッションに参加したい。(2)三年度から加茂市鳥獣被害防止対策協議会を事業主体に、国の交付金を活用し取り組む。初年度は研修会、実技指導等に重点を置く。協議会で計画して設置を進めたい。(2)森林環境譲与税を財源に、森林経営管理事業として竹除去等を実施。地元要望を聞き進めたい。(3)特別養護老人ホーム建設のため市が主体となり、平成元年に設立。基本金二千万円を市が負担。(2)平成九年、第二平成園完成時に市長部局の支援センターを設置。介護保険制度施行後も、市によるサービスの一元管理をしている。民間参入が進まないのは場所が原因ではない。参入について周知を図りたい。ケアマネジャー資格を持つ方も不足し、民間事業所の参入が進むまで現体制を継続する。(3)地域包括支援センターの業務は多岐にわたり、さらなる専門職の配置が必要。委託可能な民間事業所の参入を促しながら、環境づくりに取り組む。(4)既存事業所との公平性から慎重に検討する。

女性活躍推進について

YO2781 安武秀敏 議員



問 ①(1)女性首長の、びじょんネットワ

ーク参加で女性議員を増やす発見はあったか。

(2)ミス雪橇の検討はいいかがか。(3)男女共同参

画係は機能しているか。課への格上げはいかがか。

(4)女性消防団員の検討はいいかがか。(5)政

策決定に女性の参画拡大として加茂生活学校

と市長の懇談はどうか。

②(1)勤労青少年ホームの耐震性や老朽化はど

うか。(2)若者の利用登録は何名、何%か。(3)紅葉祭中止

理由を伺う。(4)老若共同参画社会

実現のため男女平等推進センター等に名称変更はどうか。

(5)新設かメリア三階等の活用はいいかがか。

③勤労者福祉補助金を新規雇用、出産後の再就職促進や勤労者家庭

答 ①(1)女性議員を増やす具体的な

な話はありません。議会主催でフォーラム開催など女性への働きかけが重要と思う。市も協力したい。(2)ウイルス感染症終息が見通せない中、ステージイベントやミス募集は行わない。春の加茂を楽しむ内容を検討中。(3)総務課人事係が兼務し取り組んでいる。格上げは男女共同参画基本計画策定に併せ検討したい。(4)女性消防団員入団に向け準備している。活動内容は防火広報や救護所での救護要員、災害発生時の避難所運営支援や後方支援。(5)生活学校の皆さ

演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧になれます(今回は静止画像と音声です)

12月定例会 一般質問

演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧になれます(今回は静止画像と音声です)

加茂市総合計画の策定過程と策定後について

大志の会 森山一理 議員



問 ①(1)総合計画

市民アンケートの自由記入欄の内容は総合計画審議会、市議会に公開可能か。(2)総合計画

を行政計画と考えるのか、市民、企業、非営利組織等に協力や責務

を負わせる公共計画と位置づけるのか伺う。(3)まち・ひと・しごと

創生総合戦略と総合計画との兼ね合いをどう切り分けるのか。(4)総

合戦略の事後検証について伺う。

②国道二八九号八十里越の開通後を見据えた施策を伺う。県内で道

の駅が新設されている。二九〇号沿線の七谷コミュニティセンター

を整備し、道の駅にしてはどうか。

③(1)ICT産業受け入れ宣言をして誘致を進めるべき。(2)個人や家

族単位での移住の条件整備を伺う。

答 ①(1)意見、提案をまとめた資料を審議会、市議会に提供し

たい。(2)どちらの計画に位置づけるかは難しい。行政だけでなく、

は企業や非営利組織等を含む市民に求められる役割を記載し、協力を求める。責務は負わせない。市が目指す目標を行政と市民が共有することが重要。(3)総合計画の基本計画は、基本構想で定めた目指すべき姿の実現に、中期的に行政がどう取り組むのか方向性を示すもの。総合戦略は、人口ビジョンに基づき、人口減少克服、地方創生を目的に特化したもの。総合計画策定において総合戦略との整合性を図っていく。(4)二年度内に検証結果をまとめ、公表したい。

②七谷コミュニティセンターを道の駅の登録要件に合わせ整備することは難しい。美人の湯へ通行車を誘導していくことを考える。

③(1)ICT関連の企業から来てもらえるような誘致活動を積極的に行いたい。(2)国、県の補助を受け、東京圏から移住し対象法人に就業した方に、単身者は最大六十万円、世帯移住者は最大百万円支給する移住支援補助金を今年度開始した。この制度を周知し、有効な施策を検討していきたい。

加茂市地域防災計画について

政友クラブ 白川 克広 議員



問 (1) 加茂市地域防災計画策定に当たり、

基本構想と進捗状況について伺う。(2) 雪害対策について、年度ごとの除雪参加業者数の推移はどうか伺う。(3) 今年の除雪委託契約はどのようなか。市内除雪作業委託企業の要望は反映されているか。(4) 業者との除雪会議の内容を伺う。(5) 除雪関係経費の他市との比較はどうか。安いまま単価据置きが続いているが、

市長の認識、見解を伺う。(6) 除雪契約について、見積書の提出を受けられることなく、一方的な押しつけ契約が横行しているとの声がある。契約の実態について市長の認識を伺う。(7) 除雪事業者の努力に報いるため、何らかの称揚措置が必要。市長の見解を伺う。

国、県と連携し、国の防災基本計画、新潟県地域防災計画、関係法令と整合を取る。風水害対策編、震災対策編、資料編の三編の素案を作成中。三年三月中に防災会議に諮り、策定する。原子力対策編は、原子力災害に対し県内全市町村で協議中の広域避難マニュアルとの整合性も考慮し、策定を検討する。国民保護計画は素案を作成中。加茂市国民保護協議会に諮り、年度内に策定したい。(2) 十年間の事業者数は、十六から十八事業者で推移。今年度は十八事業者に委託。(3) 委託料単価を約一〇%上げ契約。機械固定費も対象機械ごとに支払う。(4) 気象予報の情報共有、除雪出動基準の確認、委託料単価の値上げと機械固定費支払いを説明。事業者から単価値上げ、機械貸与のお願いがあった。(5) 近隣市町村の対応も様々で単純に比較できない。事業者の皆様が納得する金額に少しでも近づけていきたい。(6) 見積り合わせは県と新潟市が採用し、他市は採用していない。例年、単価の事前提示を省略していたが、今年度は単価等を説明し、了解を得て契約した。(7) 称揚制度構築も含め、ぜひ実施したい。

12月定例会 一般質問

演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧になれます(今回は静止画像と音声です)

令和2年度施政方針の進捗状況について

大志の会 浅野 一明 議員



問 (1) 若い世代の定住促進としてモニター

ーツアーやインターネットを利用した勉強会の実施状況と今後の方針を伺う。(2) 自主防災組織の設置と地域防災計画の策定状況をお尋ねする。(3) 市民との協働体制の構築について、シニアボランティアグループ結成やまちの美化、環境整備活動など、市民と行政が協働実施していくアダプトプログラム導入の進捗はどうか。(4) 八つの団体との連携協定と新潟市との連携中核都市圏の連携協約の効果や実績を伺う。(5) 市民参加型、人づくり、連携について、感染症対策を取りつつどう進めるのか。(6) 施政方針で大いに進捗した部分、変更を余儀なくされた部分はあるか。

答

(1) 十一月に八名が参加しツアーを実施。販路開拓の勉強会を八月に開催し十一名が参加。関係人口、交流人口の拡大、観光資源開発を進め、消費拡大につなげたい。(2) 防災活動に取り組み区を自主防災組織に認定するため、加茂市自主防災組織認定要綱を制定。各区に結成を働きかける。資機材整備費、防災訓練の補助を行う。地域防災計画は三月中に防災会議に諮り策定を完了する。(3) グループ結成支援は感染症によりできなかった。いろいろな形態で管理する公園、街路、水路をアダプトプログラムの乗せるには、支援の体系的整合が必要。時間をかけて検討したい。(4) 連携協定は十三団体となった。経営大等と公開フォーラムを開催した。災害時の応援協定は災害がなく実績はない。新潟広域都市圏内の文化・観光施設の共通割引券配布や新潟市、五泉市の図書館が利用可能になった。(5) 感染症対策は必要に応じ行うが、市民参加型、人づくり、連携の取組を進める。総合計画に位置づけ取り組む。(6) 公民連携の健康増進プロジェクト、GIGAスクール整備、美人の湯と土産物センターの指定管理、ふるさと加茂応援寄附金が進捗し、変更部分は武道授業の見直しを行っていないこと。



行政手続きのデジタル化でオンライン申請の推進を

公明党 三 沢 嘉 男 議員



問 児童手当の認定申請、妊娠の届出などの行政手続きをパソコンやスマホで申請できるマイナンバーカードを活用した、マイナポータル・ぴったりサービス。加茂市はこうした取組に常以後発で、遅れは市民サービス低下につながる。デジタル化の取組をお願いする。(1)マイナンバーカード普及率はどうか。(2)カードの普及、周知はどう取り組むのか。(3)県内市町村の五割がぴったりサービスを活用。現在のシステムでもできるオンライン申請を可能にしてはどうか。(4)平塚市は国のデジタル庁創設に向け、行政デジタル化推進担当を設置した。加茂市の対応はどうか。(5)職員の在宅テレワークについての考えを伺う。

答 (1)加茂市役所での交付は三千三百五十四枚。交付率一二%。

(2)カード普及の取組として、三年一月からカード交付申請書を郵送する。交付は本人受け取りが原則で、土曜日午前中も市役所で受け取り可能なことと併せ、取得いただけるよう広報やホームページ等でお知らせする。(3)オンライン申請を可能にする取組を強化する方向で、三年六月から児童手当の現況届をぴったりサービスで申請できるよう検討する。ほかのものについては、すぐに対応できるもの、できないもの、オンラインが便利なもの、対面が好ましいものなどを精査したい。(4)総務課情報政策係がICTを担当。国から情報収集や、新潟県市町村情報化推進協議会等を通じて得た有益な情報を活用し、市民サービス向上につなげたい。(5)在宅テレワーク環境整備として業務用リモートデスクトップのライセンス予算を確保したが、在宅テレワークは思ったように進まなかった。Zoomによる会議参加等が多くなり、有償版のZoomライセンスを取得する。育児や介護休暇取得中の職員はしっかり休むべきだが、在宅からも勤務を行うことができるようサポートしたい。

12月定例会 一般質問

演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧になれます(今回は静止画像と音声です)

財政について

Y02781 大平一貴 議員



問 (1)使用料等の値上げ、補助金削減、

施設の廃止等の市政の変化を市民は、前市政と比較している。私はおおむねよい方向に市政が進んでいると市民に伝えていますが、市民の満足度について危惧する。この状況について考えを伺う。(2)市長が替わり、国、県からもらえるお金は減ったのかどうか伺う。(3)地域おこし協力隊を招き、シティープロモーションによりふるさと納税を集めるようだが、具体的には何か。(4)協力隊の年収、活動費を伺う。(5)市内の団体が自らふるさと納税を集めることや、市外にいる知人等に働きかけること、市民と市が一体となって加茂市をつくっていくようにしてはどうか。

答 (1)行財政健全化に取り組み、職員給与削減や議員報酬も議会の提案により削減した。現在の行政サービスが悪くないこと、人口減少で施設の統廃合が避けられないことを市民に理解いただけるよう情報発信する。貯金的基金が少なく、公共施設の耐震化や老朽化対策、設備更新が遅れている。国、県からお金を持つてくることでできていたのであれば、このようなことはなかったはず。市民が負担感を感じるものほど丁寧な説明が必要。議員が市民へ伝えてくださることに感謝する。(2)制度からいえば、もらえるお金は変わらない。国、県の負担金等は法令等により、事業に対し一定割合を助成する。行財政健全化に取り組み、収入を増やし支出を抑え、財政状況を改善する。(3)ふるさと納税の実績から当初予定の事業はせず、協力隊の方が三年の期間終了後に加茂市で働き、稼ぎ、住み続けるという視点を重視し、地域の活性化に資する協力隊が三年後に取り組み続ける活動をどう展開するか調査、検討し、事業化する。(4)特別交付税の措置額の一人年収二百四十万円、活動費二百万円、合計四百四十万円。(5)基準となる交付要綱の整備など、他自治体の取組を参考に実施について検討したい。



加茂病院の公設民営化で加茂・田上地域の医療は守れるのか

日本共産党 中 沢 真 佐 子 議員



問

①加茂、田上地域が医療過疎にならないために県への積極的なアプローチを市長に求める。(1)日常的に起こり得る腹痛、肺炎などの症状への対応は加茂地域で治療完結すべき。(2)加茂病院が回復期、慢性期に特化すると、開業医からの急患搬送や紹介状を受けない事態も予想される。(3)知事と再編対象病院の地元自治体と意見交換した内容を伺う。

②文化会館存続を求める署名や市長への要請行動が行われている。市民の不安を払拭するため、文化会館は存続しますとする市長の熱意と速やかな決断が必要と思う。

答

①(1)各病院長の会議や最終的に地域医療構想調整会議で調整が進められているものと思うが、地元の医療を担う加茂病院でできることは精いっぱいしていただ

ると考えている。(2)救急搬送は、症状や重症度に合わせ、より専門の医師の診療がベスト。搬送先はケース・バイ・ケースで、どの病院でも同じ対応になる。高度医療が必要な場合は高度医療を担う病院へ搬送される。県央基幹病院を軸に、圏域内の病院の救急搬送について今議論されている。紹介状は、医師の横の連携があり、加茂病院の医師が紹介されれば断るということはないと思う。(3)県に確認し、僻地四病院の関係のもので、

②要望や意見を真摯に受け止める。広報加茂で文化会館の現状を説明し、小ホール、サークル室、ロビー等は利用できるかと伝えた。市全体の施設を限られた財源でどう活用するのか考えて行きたい。各団体の要望と文化会館の優れた特徴から、改修を進めるのであれば、大ホール利用の早期再開を検討する。緊急防災・減災事業債の継続が決まれば、大ホールつり天井等の改修も考えられるが、文化会館を先行して取り組むのではなく、策定中の公共施設再配置計画で市全体の施設の現状を把握し、施設の今後の在り方を含めて判断する。

③知事と再編対象病院の地元自治体と意見交換した内容を伺う。

12月定例会 一般質問

演壇上の1回目の質問と答弁の要約です。全ての内容は2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

スマホなどから2次元コードを読み取ると、その議員の録画映像をご覧になれます(今回は静止画像と音声です)

加茂市における都市計画及び景観計画について

れいわの風 森 友 和 議員



問

(1)加茂都市計画画地区計画による建築物の制限に関する条例の変更または廃止の考えはあるか。具体的な考えがあれば併せて伺う。(2)加茂市自然環境保全条例に規定される加茂市自然環境保全審議会の開催状況を伺う。審議会の具体的な審議内容も伺う。(3)加茂市自然環境保全条例の変更または廃止の考えはあるか。具体的な考えがあれば併せて伺う。(4)自然環境保全と開発の兼ね合いで、どのような統制をするのか伺う。(5)加茂市を景観行政団体とし、景観計画を策定する考えはあるか。(6)景観の維持や形成過程において、市民、事業者、市との連携、協働に関し、どのような形が望ましいとお考えか。

答

(1)地域の利便性の向上にとつて足かせになっており、廃止を考えている。メリア三階の整備を進め、商店街と一緒に活力とにぎわいのあるまちづくりを進めることで、商店街への影響は避けら

れる。(2)猿毛山自然緑地、景観保全地域の指定について四回。薬師山麓自然緑地、景観、歴史環境保全地域の指定について二回開催。両件とも土石の採取集積行為及び土地の形質の変更に該当。後者は併せて建築物その他の工作物の新築にも該当した。(3)今後も乱開発の未然防止と調和の取れた自然環境の保全を図るため、変更や廃止は考えていない。(4)開発行為は県の基準により許可し、本条例と統制が取れており、変更は考えていない。(5)県が十二月一日より景観行政団体である市町村の区域を除く県土全域を新潟県景観計画区域にした。建築面積一千平方メートル超、高さ十五メートル超の建設物などを対象に、景観計画を設けている市町村と同様に届出が必要になる。今ところ加茂市独自の計画を策定する必要はない。(6)過去に宮大門、宮小路で、景観づくりの基準を設け補助金を交付した。同様の要望等があれば、住民、事業者と協力し、北越の小京都らしい景観をつくっていくことが望ましい。

意見書二件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書二件を全会一致で可決し、関係機関へ提出しました。

その意見書の要旨は次のとおりです。

◎防災・減災、国土強靭化対策の継続的な推進及び拡充を求める意見書

防災・減災、国土強靭化のため、三か年緊急対策の終了後も引き続き新たな新五か年計画の策定及び必要な予算を確保するとともに、地方財政措置の拡充などによる更なる負担軽減を図るなど、防災・減災、国土強靭化対策の継続的な推進及び拡充を強く要望する。

◎横田めぐみさんをはじめとする拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書

米国をはじめとする国際社会と連携し、経済制裁を緩めることなく、あらゆる手段を講じて、拉致被害者全員の即時帰国を実現するよう強く要望する。

議会に配付した陳情

・新型コロナウイルス禍による米価下落対策に関する陳情

・自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める陳情（以上二件、T P P参加

阻止新潟県民共闘会議代表）

・三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度二分の一還元に係る意見書の採択を求める陳情書（新潟県教職員組合県央支部執行委員長）

連合審査会

十二月十四日に連合審査会を開催し、各委員会に付託された議案十一件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

十一月十六日、新潟大学の鷲見准教授を講師に迎えて行った加茂市総合計画策定に関する勉強会の終了後、全員協議会を開催し、加茂市総合計画について説明を受け、質疑を行いました。

十一月二十四日に月例全員協議会を開催し、市民福祉交流センターの指定管理について説明を受け質疑を行った後、事務に関する説明書の質疑を行いました。

十二月十四日に全員協議会を開催し、市営市民バス運行見直しの進捗状況、青海町共同調理場の民間委託計画について説明を受け、質疑を行いました。

一月二十一日に月例

令和2年の議会

議会開催状況

会 議 名		日 数
全 員	本 会 議	19
	連 合 審 査 会	4
	全 員 協 議 会	19
常 任 委	総務文教常任委員会	5
	産業建設常任委員会	5
	社会厚生常任委員会	5
常 設	議会運営委員会	8
特 別 委	決算審査特別委員会	3
そ の 他	議会だより編集委員会	4
	議員意見交換会	11
合 計		83



月例全員協議会(1月21日)

全員協議会を開催し、「こども未来課」新設に伴う組織再編、道路除雪費専決補正予算、暴風及び大雪被害について説明を受け質疑を行った後、事務に関する説明書の質疑を行いました。

議員意見交換会

今定例会までに開催された議員意見交換会の内容を報告します。

市民との座談会を開催し、意見交換により加茂市の課題や情報共有したいと考

え検討を重ねました。内容についても詳細を決定し、本来ならば一月下旬に市内三ヶ所で行う予定でしたが、今般の新型コロナウイルスに検討するかに、いつまでも結論を出して

市民との座談会を際にはぜひ多くの方からのご参加をお願いいたします。

議長 滝沢茂秋

案件と議決状況

案 件	件 数	議決状況	件 数	
市 長 提 出	条 例	31	原案可決	80
	予 算	46	否 決	0
	決 算	8	認 定	8
	人 事	24	承 認	15
	専 決	15	同 意	24
	その他	4	審議未了	1
	計		計	128
議 員 提 出	条 例	1	原案可決	9
	規 則	1		
	意見書	7	計	9
	計	9		
請 願	2	採 択	2	
合 計	139	合 計	139	

ほかに陳情6件を配付して報告
他市議会議員等の視察来市 0件

11月臨時会 議案等審議結果

議案番号	件名	結果
市長提出議案		
102	専決処分承認(物品の購入)	承認
103	専決処分承認(2年度一般会計補正予算第10号)	〃
104	専決処分承認(2年度水道事業会計補正予算第3号)	〃
105	特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正	原案可決
106	職員の給与に関する条例の一部改正	〃
107	2年度一般会計補正予算(第11号)	〃
108	2年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	〃
109	2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	〃
110	2年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃
111	2年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	〃
112	2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	〃
113	2年度水道事業会計補正予算(第4号)	〃
114	2年度一般会計補正予算(第12号)	〃
115	2年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第4号)	〃

12月定例会 議案等審議結果

議員提出議案		
7	議会会議規則の一部改正	原案可決
8	防災・減災、国土強靱化対策の継続的な推進及び拡充を求める意見書	〃
9	横田めぐみさんをはじめとする拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書	〃
市長提出議案		
116	2年度一般会計補正予算(第13号)	原案可決
117	2年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	〃
118	2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	〃
119	2年度介護保険特別会計補正予算(第5号)	〃
120	公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の制定	〃
121	国民保護協議会条例の制定	〃
122	国民健康保険税条例の一部改正	〃
123	中小企業特別小口資金融資条例の一部改正	〃
124	デイサービスセンター設置条例の廃止	〃
125	指定管理者の指定(市民福祉交流センター)	〃
126	指定管理者の指定(加茂土産物センター・インフォメーションセンター)	〃
127	固定資産評価審査委員会委員の選任(吉崎重廣氏)	同意
128	2年度一般会計補正予算(第14号)	原案可決

議会日誌

〔11月〕

16日 加茂市総合計画策定に関する勉強会

17日 三市議会議員合同研修会(二条市)

17日 全員協議会

19日 議会運営委員会

24日 臨時市議会

〔12月〕

3日 議会運営委員会

10、21日 定例会市議会

14日 全員協議会

21日 議員意見交換会

〔1月〕

20日 全国議長会国会対策委員会(書面会議)

月例全員協議会
議員意見交換会

21日 月例全員協議会
議員意見交換会

議会だより編集委員

3日 議会だより編集委員会

県福祉保健部による「新潟県地域医療構想の実現に向けた今後の進め方について」の勉強会

27日 県議長会定期総会(書面会議)

委員 滝沢 茂秋

副委員長 中野 元栄

委員 森 友和

委員 大橋 一久

委員 橋本 昌美

委員 三沢 嘉男

委員 白川 克広

委員 龍雄

委員 関

次の定例会は

3月4日(木)から開催の

予定です。

議員賛否の状況 審議結果の賛否が分かれた議案等(上の表の網かけ部分)について、賛否を公表します。

議案番号等	採決の種類	結果	賛成	反対	棄権	政友クラブ			大志の会			れいわの風			Y02781	公明党	共産党			
						白川 克広	山田 義栄	中野 元栄	安田 憲喜	樋口 博務	樋口 浩二	佐藤 俊夫	浅野 一明	滝沢 茂秋	森山 一理	森 友和	大橋 一久	橋本 昌美	関 龍雄	大平 一貴
116	補正予算	起立	可決	16	1	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
121	条例	起立	可決	15	2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
125	指定管理	起立	可決	15	2	0	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対、滝沢茂秋議長は採決に加わらない。 ※採決の種類：起立は起立採決、無記名は無記名投票。